

令和 6 年度



千代田区立九段幼稚園

園長 横澤 峰紀子
PTA会長 城戸 剛 常

所在地 千代田区三番町16
電話 03 (3263) 0567
FAX 03 (3263) 0731
最寄り駅 JR 市ヶ谷駅
地下鉄 市ヶ谷駅
半蔵門駅

I 教育の概要

1 学校・地域の特徴

本園は、都会の中で緑に恵まれた環境にあり、周囲には私立小中学校、高等学校、大学、大使館などがある。また、靖国通りに面して古くから商店街が形成され、史跡なども点在しているところから訪れる人が多く、落ち着いた雰囲気の中で、人・自然・文化が調和された美しい環境にある。

在園されている家庭は、教育に熱心な家庭が多く、協力的で、PTA活動であるさつき会も充実している。地域には、国家公務員や地方公務員の官舎があり、他の地域から転入してきた家庭が多い。

2 教育目標

(1) 園の教育目標

人間尊重の精神を基調として、しなやかでたくましい心と体をもつ幼児を育てるため、次の目標を設定する。

- ◎ げんきな子 自ら進んで環境に関わり 頭と心を働かせ 体を使って活動する子
- やさしい子 自分の事として考えを巡らせ 思いを馳せ 思いやって行動する子
- くふうする子 興味・関心をもったことに 想像を膨らませ 創造して表現する子

(2) 園の教育目標を達成するための基本方針

幼児や保護者・地域の実態を捉え、地域社会と共有し、園経営方針と教育課程をもとに、学期ごとに全教職員で実施状況を確認し、多角的に評価を行い、具体的な改善策をもとに、組織的・計画的に教育活動に取り組み、質の向上を図る。

- ◎ 安心・安定できる環境をつくり、教師との信頼関係を基盤に、自己を十分に発揮し粘り強く取り組もうとする意欲や態度を培う。(健康な心と体 自立心)
- ◎ 日常的に身体を動かすことの楽しさを十分に味わえる体験を重視するとともに、自分の体に関心を持ち、自ら健康で安全な生活をつくり出せるよう働き掛ける。(健康な心と体)
- ◎ 身近な自然に多様な方法に関わり、心動かす経験を積み重ねることで、豊かな感性や自然への愛情、畏敬の念を育む。(自然との関わり・生命尊重 豊かな感性と表現)
- 自分と同じように友達や身近な人のことも大切な存在として受け止め、人と関わる経験を重ねる中で、互いの違いやよさ、多様な人の存在を知り、親しみや信頼をもてるようにする。
(協同性 社会生活との関わり)
- 幼児が主体的に遊びや生活に取り組む中で、心動かし探究していく過程を大切にし、対話的で深い学びが実現するように働き掛ける。(思考力の芽生え 言葉による伝え合い)
- 身近な園内の環境から社会における環境問題等にも気付き、自分のこととして考えたり想像したり予測したりするなど、主体的にできることからやってみる意識をもって行動できるようにする。
(道徳性・規範意識の芽生え 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重)
- 近隣の保育所等との連携を図り、発達や学びの連続性を考慮した小学校への進学に向け、就学前教育施設のパイプ役として、小学校と円滑に接続できるよう推進する。(社会生活との関わり)
- 自国や様々な国の伝統文化や価値観、また、年中行事等に触れ、社会とのつながりや国際理解の意識の芽生えを培う。(道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり)
- 身近な環境に興味や関心をもって直接関わり体験する中で、数や文字等の感覚・自ら考える力、想像する力や創造する力、それらを様々な方法で表現する力を培う。
(思考力の芽生え 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 豊かな感性と表現)

2 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

幼児一人一人の興味や関心に基づき自発的な活動をする中で、自分の力を十分に発揮し、充実感や満足感、達成感を味わえるよう、発達や年齢に応じた適切な環境を整え、3年間、更に将来を見通した教育を教職員が連携して計画的に行う。

(3歳児) ・幼稚園に喜んで登園し、自分の好きな遊びを見つけてじっくりと楽しむ。

(4歳児) ・興味や関心を広げ、友達と関わりながら遊ぶことを十分に楽しむ。

(5歳児) ・目的や見通しをもち、友達と協力しながら遊びや生活に取り組み充実感を味わう。

- ◎ 体を動かすことの楽しさや充実感を味わいながら、健康な体や体づくりに関心をもち、意識して体を動かせるよう、足育やコーディネーショントレーニングなどの動きも取り入れながら年齢発達に応じた様々な動きや運動遊びに日常的に取り組む。(健康)
- 多様な人々に親しみをもって接し、道徳性や規範意識、人権感覚、国際感覚などを養うとともに、教師との信頼関係を基盤にしながらかつ藤体験や協同する体験、また異年齢での関わりなど、自分の考えや表現の方法を広げられる経験を積み重ねる。(人間関係・言葉・表現)
- 身近な資源や自然環境等を大切にしようとする気持ちが育まれ、日常的に節電や節水を心掛けたり、材料等を無駄なく使ったりなどできるよう、生活や遊びの中の具体的な場面で声を掛けたり、教師が再利用する様子を見せたりする。また、そのような行動が、持続可能な社会づくりにつながっていくことを、発達段階に合わせて知らせていく。(環境)
- 自国の伝統文化に親しみ、日本や自分たちが住む地域に愛着や誇りがもてるように、生け花体験「はなとともだち」、音楽鑑賞「雅楽」などを実施するとともに、「フラワーロードの会」で地域の環境づくりに参画する。生活の流れの中で自然に、また必然的に取り組めるよう、事前や事後の活動を工夫し計画的に進める。また、「豊かな国際感覚」を学校2020レガシーとして位置付け、異なる文化へも関心が広がるよう、外国籍の幼児の母国などから関心を広げ、異文化にふれる機会をつくり、国際理解の意識の芽生えを培う。(環境)
- 豊かな心情や感性、表現する力、新しい視点で物事が考えられる力を育むために、身近な自然環境を活用した遊びや表現活動、絵本の読み聞かせ等を重視し、さらに、経験の広がりを見据えた、特色ある教育活動としての講師の招聘や有効な情報機器の活用も積極的に行う。(環境・言葉・表現)

(2) 環境の構成

- 教師に安心感や信頼感をもち、安心して園生活を送ることができるように、担任を中心に職員間で幼児の姿についての情報交換を密に行い、全職員が一体となり幼児一人一人を見守り、育てていくための環境を整える。
- ◎ 体を動かす楽しさを十分に味わうために、また、一日の流れや時期に合わせて多様な遊びが展開できるよう、活動に応じて園庭やピロティ、併設小学校の施設、近隣の東郷公園などを活用する。特に、昼食後の校庭やピロティは、異学年が自然に交流できる場であり、九段幼稚園の遊び文化が伝承していく場でもあることを考慮し、年齢・発達に応じた運動遊び等を、意図的・計画的に取り入れ、場の整理をしながら、子ども同士が自然に交流したり遊びを伝え合ったりできるように、教師間で連携しながら有効に活用する。
- ◎ 幼児が健康な足づくりに関わる正しい靴の着脱の仕方を身に付けたり、足指体操等を楽しんで行ったりするなど、家庭と連携しながら、日常生活の中での足育を推進する。
- 多様な人との関わりの中で親しみを深め、互いを尊重する気持ちがもてるように、遊びや生活の中での日常的な異年齢交流を教師が意識し、子どもたちが主体的に関われる環境の工夫をする。また、保育園(東郷公園での遊び・外部講師を招いた交流・日常の遊びの交流など)、小学生(中休みのふれあい・行事の取組の見学など)地域の方(ポッチャ体験・読み聞かせ・フラワーロードの会)保護者(カンガルータイム・行事のボランティア)との交流も継続的に行い、事前・事後の打ち合わせや振り返りも重視する。
- ◎ 身近な自然環境や四季折々の事象に直接触れる中で、興味や関心を広げ、豊かな感性が育まれるよう、計画的に年間の見通しをもって植物等の栽培をするとともに、幼児と一緒に栽培の仕方や環境を考え、見直していく。また、自然に関する職員研修を通して自然物の保育への生かし方や環境の作り方を学び、継続して豊かな保育を展開できるような環境の提示や遊びを工夫する。

- 持続可能な社会をつかっていくために、自分たちにどのようなことができるのか、身近なことから考えられるよう、視覚教材を有効に活用し具体的な場面をとらえ、子どもたちと一緒に考えながら取り組む。

(3) その他

- 遊びや生活の中で危険を予測しながら過ごす態度や自分で考えて判断する力を育む。また、身体や健康、安全のことや自分らしくあることなどについての知識を養い、自分の身を自分で守る力を育めるよう、教育活動全体を通して安全教育を行う。さらに自分の心や体を大切に「生命（いのち）の安全教育」を推進する。
- 特別に支援が必要な幼児が安心して過ごし、よりよい成長ができるようにするために、特別支援教育コーディネーターが中心となり、スクールカウンセラー、巡回アドバイザー、特別支援学校のセンター的機能の活用や関係諸機関の見立てを参考にしながら担任が「教育支援シート」を作成し、副担任、専門員、支援員等園全体で共有して全職員が一貫した支援を行っていく。また、多様な幼児や保護者がいることを踏まえ、ユニバーサルデザインを用いた表示や分かりやすい掲示等の環境を工夫する。
- 外国人幼児等を受け入れる機会が増えてきたことを踏まえ、園全体で心構えや配慮点、準備などを共有し、また、よりよい環境や体制を整えられるよう、職員の研修を行い、意識の向上を図る。
- 保護者の幼児教育や本園の教育活動への理解を深められるよう、また、保護者自身が子育ての楽しさや、やりがいを感じられるよう、年間を通して計画的に保護者会、保育参加・参観、学級懇談会等を実施する。また、玄関の掲示やホームページ等を活用して日常的な遊びの様子を保護者に知らせ、幼児の育ちを伝える工夫をする。
- 幼児の一日の生活を考え、預かり保育「くすのき」の保育内容が充実するよう、全教員で、預かり保育の時間だからこそ行える活動や環境等について話をする機会を定期的につくり、教育課程の時間と預かり保育の時間を通した本園の教育の質の向上を目指した指導計画を作成し、それに基づいた教育活動を展開する。
- 地域に開かれた幼稚園として、未就園児親子が安心して遊べる場を提供できるよう、園開放や園庭開放、在園児と触れ合える日などを設定し、気軽に園に遊びに来られる機会をつくる。また、幼稚園が子育ての支援としての機能を発揮できるよう、子育ての悩みなどを気軽に話せる状況をつくり、教員が専門的な立場からアドバイスしたり、保護者同士で話せる雰囲気をつくったりする。
- 園内研究
「生涯にわたり学び続ける姿を目指して」 一わくわく足育 保護者とともに—

4 一日の時間

年齢	期間	登園時間	教育時間	降園時間	備考
3歳児	4月10日～4月17日	8:50～ 9:05	9:00～11:00	11:00	
	4月18日～5月8日		9:00～11:20	11:20	
	5月9日～7月2日		9:00～13:00	13:00	
	7月3日～3月19日		9:00～13:40	13:40	毎週水曜日 11:20
4歳児	4月9日～3月19日		9:00～13:50	13:50	毎週水曜日 11:30
5歳児	4月9日～3月18日		9:00～14:00	14:00	毎週水曜日 11:40

5 年間行事計画

期	月	行 事	期	月	行 事
一学期	4月	始業式、入園式、定期健康診断始、弁当始（4・5歳児）、保護者会全体会、絵本貸し出し始、学級懇談会、足育学習会、離任式	二学期	10月	うんどうかい、コーディネーション、遠足（全園児）、秋季歯科健診、お芋パーティー、自然となかよし音を楽しむ（預かり）チャレンジ（預かり）
	5月	こどもの日の集い、個人面談始、弁当始（3歳児）、自然となかよし、親子遠足、わくわく、弁当参観（3）、開園記念を祝う会、クーヨンキッズ（5歳児）		11月	千代田区一斉清掃日、保育参観、フラワーロードの会、親子シネマ、合同子ども会（5

6月	よい歯の表彰式、千代田区一斉清掃日、定期健康診断終、神幸祭見学、ポッチャ体験フラワーロードの会、水遊び指導始、みんなであそぼう、遠足（4・5歳児）、自然となかよし、避難訓練（171訓練）、花と友達園公開・保育参観、音を楽しむ（預かり）	12月	歳児）、花と友達、足育報告会、自然となかよし、個人面談、就園時健康診断 雅楽鑑賞、保護者会全体会、子ども劇場、終業式
8月	夏季預かり保育 チャレンジ（預かり）	2月	研究保育、音楽会、発田先生のミニ小学校、保育参観、お別れ遠足（5歳児）、新入園児保護者会、音を楽しむ（預かり）
二学期	三期		

毎月の行事など

※誕生会・避難訓練・安全指導・発育測定：各月1回・お話の国：各月1回
 スクールカウンセラー来園：月2回・巡回アドバイザー来園：月1回程度
 英語で遊ぼう：年間6回 図書館司書来園：月2回

預かり保育 かもめタイム：月1回・絵本シネマ：月2～3回

II 現況

1 園舎施設・規模一覧

現園舎	起工；平成27年10月23日 竣工；平成30年7月31日	保育室	(4) 313.6㎡
園舎構造	鉄筋コンクリート造		
園舎面積	918.0㎡	職員室 その他の室	(3) 79.5㎡
あそび場	屋外 120.0㎡ 屋内（遊戯室）101.0㎡		

2 組編成 R6.4.1 現在

総合計45名（男27名、女18名）

年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計
3歳	ちゅうりっぷ組	8	5	13	4歳	ゆり組	10	3	13	5歳	さくら組	9	10	19

III 沿革の概要

昭5.4.1	東京市上六尋常小学校内に附属幼稚園として設置	昭55.4.1	3年保育開設・保育室増設
昭5.12.15	開園式挙行	昭55.12.5	幼稚園創立50周年記念式典挙行
昭7.4.1	東京市麹町区上六幼稚園と名称変更	昭55.12.5	園歌制定
昭9.8.27	東京市麹町区東郷幼稚園と名称変更	昭56.2.6	公開保育
昭19.4.30	戦時非常措置により休園	昭58.8.	保育室、職員室壁面、床塗装改修
昭21.4.1	再開園。	昭60.4.25	砂場に藤棚設置
	東京都九段幼稚園と名称変更	昭61.6.21	ジャングルジム設置
昭22.3.29	東京都千代田区立九段幼稚園と名称変更	昭62.10.21	園児用便所改修工事
昭38.11.28	小学校創立60周年、幼稚園創立33周年記念式典挙行	昭62.12.10	千代田区教育委員会研究協力園 研究発表会「幼児の発達に即した望ましい教材とその指導法について…音楽リズムを通して…」
昭39.3.	園旗制定	平2.6.21	保育室改修
昭43.11.14	公開保育	平2.8.31	ピロティ人工芝設置
昭48.4.1	園児増のため、ピロティに保育室1、職員室1増設	平2.12.1	創立60周年記念式典挙行
		平4.3.11	藤棚改修工事

昭51.11.5	公開保育	平 4.11.6	公開保育
昭53.10.3	砂場設置	平 5.2.12	ピロティ改修(保育室、教材室)
平 5.4.1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立千代田九段幼稚園となる。		
平 6.1.1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立九段幼稚園となる。		
平 7.6.3	園歌、園章、園旗を制定し、開園記念日とする。		
平 8.11.23	千代田区教育委員会研究協力園研究発表会「主体的に生活する幼児の育成を目指して」		
平10.2.27	全国小学校道徳教育研究会のため研究保育		
平11.2.2	保育研究会		
平11.11.3	プレイスカラブチャー撤去、土山を設置		
平15.3.18	千代田区教育委員会研究協力園「子どもも保護者も楽しい幼稚園」を誌上発表		
平15.6.3	幼稚園開園10周年記念式典挙行		
平15.12.12	千代田区教育委員会研究協力園「子どもも保護者も楽しい幼稚園 …絵本を媒介とした家庭との連携を通して…」研究発表		
平17.7.25	園庭及びピロティにスピーカー設置		
平22.11.26	千代田区教育委員会研究協力園研究発表会 「一人ひとりの自己肯定感を高めるために …感じる・考える・伝え合う…」		
平24.4.1	東京都教育委員会「自尊感情や自己肯定感を高めるための教育」推進園となる。		
平24.12.7	東京都教育委員会「自尊感情や自己肯定感を高めるための教育」推進園研究報告		
平25.4.1	園児増のため、『みんなの部屋』を5歳児保育室にする。		
平25.6.3	幼稚園開園20周年記念式典挙行		
平27.9.1	園舎改修に伴い仮園舎に移転 富士見園舎		
平29.1.20	園内研究発表会 「元気いっぱい九段の子～健康な体と強い心を育てる～」		
平30.9.3	新園舎完成により、三番町へ移転		
令 4.12.9	千代田区教育委員会研究協力園研究発表会 「生涯にわたり学び続ける姿を目指して」 ～夢中になって遊びこむ経験を通して学びに向かう力を育む～		
令 5.6.3	幼稚園開園30周年記念式典挙行		